



TANABE

District 2640 田辺ロータリークラブ



ROTARY

Club Weekly Bulletin

2006-07年度
国際ロータリーテーマ

「率先しよう」
- LEAD THE WAY -
ウィリアムB・ボイド
RI会長

4つのテスト (FOUR WAY TEST)

- 言行はこれに照らしてから
- (1) 真実かどうか
 - (2) みんなに公平か
 - (3) 好意と友情を深めるか
 - (4) みんなのためになるかどうか

例会日 木曜日 12:30
 例会場 紀陽銀行三階ホール
 会長 坪井 敏行
 幹事 三前 剛
 会報委員長 新井 康司
<http://tanabe-rc.com/>

承認 昭和28年3月2日
 事務所 田辺市栄町24 〒646-0048
 紀陽銀行田辺支店内
 TEL 0739-24-2002
 FAX 0739-26-0264
 mail tanaberc@mb.aikis.or.jp



「香港100万ドルの風景」
撮影 木村勝次会員

司会者

坪井敏行会長

ソング

明日があるさ

ゲスト

みなべ町社会福祉協議会
葛城 洋様

ヴィジター

藤堂俊隆君 (田辺はまゆうRC)
玉置和男君 (田辺東RC)

本日のプログラム 2/1

すさみ町立
エビとカニの水族館
館長 森 拓也様
「海から知る
南紀の環境問題」

次回のプログラム 2/8

新会員卓話

山本忠生会員

出席報告

	会員数	欠席者	出席者	出席率
総 数	88名	17名	71名	
出席計算者	75名	11名	64名	85.33%
12月21修正出席率	94.67%	12月平均出席率	93.33%	

メイクアップ

1月23日 榎本長(田辺はまゆうRC)
 1月24日 依田(田辺東RC)

お祝い

配偶者誕生日 1/29 脇村敬子(明)
 結婚記念日 1/27 松本孝
 1/27 山本忠
 在籍表彰 阪井(45年)

ニコニコ箱

みなべ町社会福祉協議会葛城 洋さん、本日卓話楽しみにしています。……村上、植田英、三前剛、松本哲藤堂さん、玉置さん、ようこそいらっしやいませ。……村上お世話になります。……玉置(田辺東RC)1月無事終了ありがとうございます。……坪井マイナス7 と暖かい北海道は夕張でスキーをしました。……植田芳今日は寒いですね。……荷稻長井さん、ラビーム11番125ヤード9番アイアンホールインワンおめでとうございます。今年の運が尽きないように祈ります。……中松、廣本、伊賀、新井、野村富やっちゃいました。ホールインワン、何かと大変です。神の思召しと……感謝します。……長井

長井さん、ホールインワンおめでとうございます。ゴルフ同好会としては、平成16年6月の廣本喜亮さん以来、実に2年半ぶりの待望の快挙です。記念コパは、手馴れたものですから安心してお任せ下さい。2月4日のロータリー月例会で盛大に行いたいと思いますので、予算の方たっぷりとお願ひします。……長野

お知らせ

会長報告

・本日はありません。

幹事報告

・近隣クラブ会報が届いておりますので回覧します。

委員会報告

社会奉仕委員会

新藤整市委員長

・ポケットコインを今週もう一回廻しますのでご協力よろしくお願ひします。書き損じハガキは後ろに箱を置いていますのでもう少しお願ひします。

親睦活動委員会

尾崎 実委員長

・今晚、夜6時30分よりまるた食堂にて新会員歓迎会を行います。

しょうわ会

横田達夫会長

・しょうわ会が2月15日午後6時30分よりあしべで行われます。お忙しいでしょうがよろしくお願ひします。フレッシュ会員でまだ1度も出席していない人は必ず出席の程お願ひします。出欠表は次回例会より廻します。

野球同好会

新井康司会員

・例会終了後ユニホームの採寸をしますので、残っていただける方は今日中に測っておいて下さい。



『私と野球』

みなべ町社会福祉協議会
葛城 洋様

本日はお招き頂き誠にありがとうございます。気の利いたお話も出来ませんが何卒宜しくお願い致します。

私はみなべ町社会福祉協議会に勤めて丸12年、今年13年目を迎えます。年齢は、今年は40歳を迎えます。

社協に勤めた当初は、“社会福祉”などさっぱり分からない全くの素人でした。当時は平成6年、今のような社会福祉の充実もまだまだで、これから福祉の充実が急速に進んでいこうという頃でした。

今では、ようやく私も社会福祉について、あれこれとお話できるようになりましたが、ただ、社会福祉と言っても、高齢者や障がい者、児童、子育て、低所得の方々などの暮らしの問題や住民同士の助け合いを進める活動など様々で、一口では語れません。

また、機会が御座いましたら、我々を取り巻く福祉のお話もさせて頂きたいと思えます。

さて本日は、私が経験してきた野球に関してお話ししたいと思います。

私は、物心がついた頃からおやじにキャッチボールを仕込まれ少年時代から野球中心で育ってきました。大げさに言えば“巨人の星”状態でした。子どもの頃はプロ野球選手、高校時代は甲子園、将来の夢にはすべて野球があったように記憶しています。小学校の作文はすべて野球でした。

教えて頂いた野球は、すべてレベルが高く厳しいものばかりでした。幸運（不運？）にも、常に優れた指導者に巡り合えたという事でしょうか？気楽に面白おかしくやった野球はありません。

少年野球では、当時高校生なみの“個人ノック”という打つ者と守る者が一対一で行う守備練習や今ではタブーであるうさぎ跳びなどを毎日のようにやりました。守備の捕球時には、球の捕り方を“打球の勢いをしっかり殺せ”などと技術的な指導も小学生レベルを超えたものだったと思えます。

中学高校でも、さらに厳しい指導を受けました。一つも落とせないトーナメントで戦うので、勝負の厳しさに耐えるための鍛錬やチームワークの尊さなど、また、先輩後輩の縦社会の規律を叩き込まれました。

この様な中での野球は確かにしんどかったですが、確かな目標があったので大変充実して、やりがいがありました。また、頑張りと粘り、根性が付いたのは確かです。

この頑張る姿勢は野球から派生し、勉強や自分の生

き方などにもしっかり活かされていると思います。仲間を思いやる気持ちや協調性も育まれ、何事でも勇気を持って臨めるようにもなりました。何よりも、本気になって一緒に苦楽を共にした仲間や先輩、後輩を得たということが人生の尊い財産になりました。こうした仲間とは、今でも親しい付き合いが続いています。ありがたい限りです。

高校時代に甲子園の夢が破れ、大学進学時には野球の指導者を目指し教員になろうと頑張りました。

進学希望は、子どもの頃、おやじから早慶戦の話を聞いて、憧れていた早稲田大学。到底、学力が付いていかず夢破れました。何とか高校時代の恩師の母校である東海大学に進学となりました。

大学では、野球選手としての実力の無さも分かったので、学生コーチとなったのですが、父親が大学2年生の時に亡くなったので野球部を退部し、残りの大学生活はアルバイトで明け暮れました。

大学を卒業後は、高校の恩師のお誘いにより母校である南部高校の講師として4年間お世話になりました。この間、春の選抜高校野球大会に2年連続コーチとして甲子園に出場させて頂きました。現役時代はどんなに頑張っても果たせなかった甲子園出場に関わって大変幸せでした。それと同時に、案外行ける時は簡単に行けるんだと思ってしまいました。

結局、この4年間で自分の夢であった高校野球の指導者、学校の教員生活は終わってしまっています。和歌山県の教員採用試験には受かりませんでした。当時27歳で、まだまだ試験にトライできましたが、紆余曲折、近所の役場のおじさんに社協に誘われ現在に至る訳です。

野球を離れた生活は、考えたこともなく、何とも拍子抜けした感じでした。社協に勤めた頃は、社会のシステムも良く分からず、恥ずかしい思いを多々したように思い出します。社協で仕事をする中で、生きていく上で大切なことを多く学ばせて頂いたと思えます。

今は、野球の見方や感じ方も大きく変わりました。絶えず生活の中心であった野球を外から離れて広い視野で見ると、自分の経験してきた野球や今の少年野球、中学・高校野球の良い所悪い所がよく見えるようになりました。

たかが野球なんです。みんながイチローや松井になれる訳ではありません。野球を通して何を学ぶかが大切なんだと思えます。

とは言うものの、10年余り経って、今また、縁あって子ども達の野球の指導をしています。やっぱり野球は楽しいというのが正直なところです。私の経験を生かして、子ども達に楽しい野球というスポーツを伝えたいと思っています。

ありがとうございました。

